

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第66期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	星和電機株式会社
【英訳名】	SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 増山 晃章
【本店の所在の場所】	京都府城陽市寺田新池36番地
【電話番号】	0774（55）8181
【事務連絡者氏名】	専務取締役 愛知後 秀作
【最寄りの連絡場所】	京都府城陽市寺田新池36番地
【電話番号】	0774（55）8181
【事務連絡者氏名】	専務取締役 愛知後 秀作
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第2四半期連結 累計期間	第66期 第2四半期連結 累計期間	第65期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	6,892,298	7,544,644	18,661,658
経常利益又は経常損失()(千円)	698,799	771,413	423,316
四半期(当期)純損失()(千円)	718,836	530,205	354,383
四半期包括利益又は包括利益(千円)	825,319	418,218	221,310
純資産額(千円)	6,992,586	7,174,933	7,594,339
総資産額(千円)	17,610,870	17,537,647	19,712,435
1株当たり四半期(当期)純損失金額 ()(円)	59.40	43.83	29.29
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	39.2	40.3	38.0
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	3,152,426	2,174,205	2,870,757
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	178,285	364,246	155,774
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	3,131,420	1,518,944	3,006,607
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	2,463,394	2,671,006	2,353,452

回次	第65期 第2四半期連結 会計期間	第66期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額()(円)	14.48	7.23

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更は以下のとおりです。

- (1) 事業の内容の重要な変更
重要な変更はありません。

- (2) 主要な関係会社の異動

照明機器事業において、新規設立したことにより、常熟星電貿易有限公司が連結子会社となりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当社は、平成25年9月11日開催の取締役会において、平成25年11月1日を効力発生日として、当社の100%連結子会社である株式会社セイワキャリアサービスを吸収合併することを決議し、同日付で吸収合併契約を締結いたしました。当該契約の概要につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（重要な後発事象）」に記載しております。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策などにより円高是正や株価の回復が進んだことで、景気は緩やかな回復傾向がみられました。しかしながら、実体経済の回復を実感するまでにはいならず、海外景気の下振れが懸念されるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このようななか、当社グループにおきましては、コスト低減活動、製品品質向上活動に努め、顧客満足度を高めるべく提案営業活動を推し進め、販売力とものづくり力の強化を図り、事業推進力の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期の連結売上高は75億44百万円（前年同四半期比9.5%増）となりました。営業損失は7億48百万円（前年同四半期は6億55百万円の損失）、経常損失は7億71百万円（同 6億98百万円の損失）、四半期純損失は5億30百万円（同 7億18百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの情報機器事業の売上高は通常の形態として、他の四半期に比べ第4四半期に完成する工事の割合が大きいため、業績に季節的変動があります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（情報機器事業）

主力製品であります道路情報機器において、高速道路向けおよび一般道路向けの売上が前年同四半期に比べ増加しました。この結果、売上高は26億9百万円（前年同四半期比19.4%増）、セグメント損失は4億70百万円（前年同四半期は3億4百万円の損失）となりました。

（照明機器事業）

民間設備投資関連の産業用照明器具は、LED照明器具が着実に伸び、前年同四半期に比べ増加しました。また、公共投資関連の道路・トンネル照明器具も増加しました。この結果、売上高は23億36百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント損失は37百万円（前年同四半期は2億32百万円の損失）となりました。

（コンポーネント事業）

エアコン用の配管保護機材は増加しましたが、配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材は減少しました。また、電磁波環境部品は増加しました。この結果、売上高は24億78百万円（前年同四半期比6.0%増）、セグメント利益は3億34百万円（前年同四半期は4億79百万円の利益）となりました。

（その他の事業）

メカトロニクス製品は6百万円、商品仕入販売は61百万円、情報サービス等は51百万円となりました。この結果、その他の事業の売上高は1億19百万円（前年同四半期比11.0%減）、セグメント損失は8百万円（前年同四半期は33百万円の損失）となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少額38億21百万円やたな卸資産の増加額7億22百万円、仕入債務の減少額5億64百万円等により、21億74百万円の収入（前年同四半期は31億52百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出2億92百万円等により3億64百万円の支出（前年同四半期は1億78百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減額10億50百万円、長期借入金の返済による支出4億66百万円等により、15億18百万円の支出（前年同四半期は31億31百万円の支出）となりました。

以上により、現金及び現金同等物の四半期末残高は、26億71百万円（前連結会計年度末より3億17百万円の増加）となりました。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はなく、また、新たに生じた重要な対処すべき事項はありません。

（4）研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億54百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,782,000
計	33,782,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,382,000	12,382,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は1,000 株であります。
計	12,382,000	12,382,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	12,382,000	-	3,380,000	-	3,613,665

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
星和電機取引先持株会	京都府城陽市寺田新池36番地	1,136	9.17
財団法人 京都青少年育成スポーツ財団	京都市下京区東洞院通綾小路下ル扇酒屋町 289番地デ・リードビル204号室	1,000	8.08
株式会社京都銀行	京都市下京区烏丸通松原上ル薬師前町700	598	4.83
増山 晃章	京都市下京区	562	4.55
株式会社滋賀銀行	滋賀県大津市浜町1-38	420	3.39
星和電機社員持株会	京都府城陽市寺田新池36番地	302	2.44
田島 大史	京都府宇治市	280	2.26
株式会社GSユアサ	京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地	270	2.18
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6	234	1.89
株式会社松風	京都市東山区福稲上高松町11	231	1.87
計	-	5,034	40.66

(注)上記のほか、自己株式が287千株あります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 287,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,967,000	11,967	-
単元未満株式	普通株式 128,000	-	-
発行済株式総数	12,382,000	-	-
総株主の議決権	-	11,967	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 星和電機株式会社	京都府城陽市寺田新池36番地	287,000	-	287,000	2.32
計	-	287,000	-	287,000	2.32

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について清友監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,578,452	2,896,006
受取手形及び売掛金	7,489,255	3,675,242
有価証券	-	100,000
商品及び製品	799,629	1,079,623
仕掛品	273,689	521,984
原材料及び貯蔵品	2,176,934	2,389,566
その他	230,061	499,941
貸倒引当金	419	121
流動資産合計	13,547,604	11,162,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,119,914	5,151,920
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,131,557	3,216,052
建物及び構築物(純額)	1,988,357	1,935,868
その他	9,201,059	9,217,468
減価償却累計額及び減損損失累計額	7,942,808	7,939,993
その他(純額)	1,258,250	1,277,475
有形固定資産合計	3,246,607	3,213,344
無形固定資産	274,479	292,806
投資その他の資産		
投資有価証券	1,412,322	1,642,046
その他	1,306,896	1,302,581
貸倒引当金	75,475	75,375
投資その他の資産合計	2,643,744	2,869,252
固定資産合計	6,164,831	6,375,404
資産合計	19,712,435	17,537,647
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,000,524	3,452,076
短期借入金	3,143,307	2,099,614
1年内返済予定の長期借入金	926,900	902,750
未払法人税等	53,348	25,440
賞与引当金	254,000	257,000
受注損失引当金	63,626	226,329
関係会社整理損失引当金	42,243	51,465
その他	1,054,672	1,193,808
流動負債合計	9,538,623	8,208,486
固定負債		
長期借入金	2,043,200	1,600,400
退職給付引当金	157,619	154,169
役員退職慰労引当金	71,990	69,660
環境対策引当金	73,836	73,836
その他	232,828	256,162
固定負債合計	2,579,473	2,154,227

負債合計	12,118,096	10,362,714
------	------------	------------

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,380,000	3,380,000
資本剰余金	3,613,665	3,613,665
利益剰余金	321,172	209,032
自己株式	197,880	199,068
株主資本合計	7,116,957	6,585,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350,189	387,924
為替換算調整勘定	28,270	102,903
その他の包括利益累計額合計	378,459	490,827
少数株主持分	98,921	98,540
純資産合計	7,594,339	7,174,933
負債純資産合計	19,712,435	17,537,647

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	² 6,892,298	² 7,544,644
売上原価	5,924,544	6,693,053
売上総利益	967,753	851,590
販売費及び一般管理費	¹ 1,623,562	¹ 1,600,540
営業損失()	655,809	748,949
営業外収益		
受取利息	1,726	5,685
受取配当金	20,739	27,472
不動産賃貸料	17,463	17,442
その他	23,672	15,367
営業外収益合計	63,602	65,967
営業外費用		
支払利息	37,904	26,393
売上割引	33,793	41,322
為替差損	8,640	626
シンジケートローン手数料	17,436	12,500
その他	8,818	7,588
営業外費用合計	106,593	88,430
経常損失()	698,799	771,413
特別利益		
投資有価証券売却益	742	11,423
貸倒引当金戻入額	845	-
特別利益合計	1,587	11,423
特別損失		
固定資産除却損	3,265	3,570
ゴルフ会員権評価損	1,350	-
関係会社整理損失引当金繰入額	-	11,302
特別損失合計	4,615	14,872
税金等調整前四半期純損失()	701,827	774,862
法人税、住民税及び事業税	12,652	12,473
法人税等調整額	2,156	257,310
法人税等合計	14,808	244,837
少数株主損益調整前四半期純損失()	716,635	530,025
少数株主利益	2,200	179
四半期純損失()	718,836	530,205

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	716,635	530,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131,285	37,174
為替換算調整勘定	22,601	74,633
その他の包括利益合計	108,684	111,807
四半期包括利益	825,319	418,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	826,080	417,837
少数株主に係る四半期包括利益	760	381

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	701,827	774,862
減価償却費	349,902	219,149
投資有価証券売却損益(は益)	742	11,423
貸倒引当金の増減額(は減少)	12,691	397
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,195	3,527
受注損失引当金の増減額(は減少)	62,663	162,703
関係会社整理損失引当金の増減額(は減少)	-	2,100
受取利息及び受取配当金	23,305	33,157
支払利息	37,904	26,393
固定資産除却損	2,128	3,570
売上債権の増減額(は増加)	5,485,546	3,821,722
たな卸資産の増減額(は増加)	677,578	722,789
その他の流動資産の増減額(は増加)	16,359	4,815
仕入債務の増減額(は減少)	968,993	564,608
その他の流動負債の増減額(は減少)	351,272	113,425
その他	10,954	27,349
小計	3,179,614	2,206,133
利息及び配当金の受取額	26,086	27,943
利息の支払額	36,877	26,930
法人税等の支払額	16,398	32,940
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,152,426	2,174,205
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	178,238	123,363
有形固定資産の売却による収入	32,703	-
無形固定資産の取得による支出	38,757	14,312
投資有価証券の取得による支出	92,995	292,319
投資有価証券の売却による収入	69,181	137,922
貸付金の回収による収入	-	100
保険積立金の積立による支出	-	1,392
その他	29,820	29,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	178,285	364,246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	2,499,849	1,050,806
長期借入金の返済による支出	522,500	466,950
自己株式の取得による支出	157	1,187
配当金の支払額	108,914	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,131,420	1,518,944
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,048	26,538
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	153,232	317,553
現金及び現金同等物の期首残高	2,616,627	2,353,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,463,394	2,671,006

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、常熟星電貿易有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料賞与	686,414千円	714,663千円
荷送運送費	185,482	194,548
福利厚生費	200,010	190,726
減価償却費	41,678	34,203
退職給付費用	31,247	29,179

2 売上高の季節的変動

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループの情報機器事業の売上高は、受注状況から年度末に向けて完成する工事の割合が多くなる傾向にあるため、季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	2,658,394千円	2,896,006千円
預入期間が3か月を超える定期預金	195,000	225,000
現金及び現金同等物	2,463,394	2,671,006

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月11日 取締役会	普通株式	108,914	9	平成24年3月31日	平成24年6月13日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

無配のため、記載すべき事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	情報機器	照明機器	コンポーネ ント	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,185,733	2,232,680	2,339,704	6,758,119	134,178	6,892,298	-	6,892,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	100	1,328	1,136	2,566	180,751	183,317	183,317	-
計	2,185,834	2,234,009	2,340,841	6,760,685	314,930	7,075,616	183,317	6,892,298
セグメント利益又は 損失()	304,912	232,322	479,964	57,270	33,790	91,061	564,747	655,809

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メカトロニクス製品、商品仕入販売、情報サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 564,747千円には、セグメント間取引消去3,234千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 567,982千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	情報機器	照明機器	コンポーネ ント	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,609,871	2,336,424	2,478,958	7,425,255	119,388	7,544,644	-	7,544,644
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	8,247	1,613	9,862	120,159	130,021	130,021	-
計	2,609,872	2,344,672	2,480,572	7,435,118	239,547	7,674,666	130,021	7,544,644
セグメント利益又は 損失()	470,043	37,890	334,958	172,975	8,662	181,637	567,312	748,949

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メカトロニクス製品、商品仕入販売、情報サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 567,312千円には、セグメント間取引消去5,119千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 572,431千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
1 株当たり四半期純損失金額	59円40銭	43円83銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額 (千円)	718,836	530,205
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額 (千円)	718,836	530,205
普通株式の期中平均株式数 (株)	12,101,327	12,097,196

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、平成25年 9 月11日開催の取締役会決議に基づき、平成25年11月 1 日に当社100%出資の連結子会社である株式会社セイワキャリアサービスを吸収合併いたしました。なお本合併は、当社においては会社法796条第 3 項に定める簡易合併であり、株式会社セイワキャリアサービスにおいては会社法784条第 1 項に定める略式合併であるため、いずれも株主総会の承認を得ることなく合併いたします。

1. 合併の目的

株式会社セイワキャリアサービスは、これまでグループ内の人材派遣、製造業に関する梱包・組立等の作業請負を行ってまいりましたが、設立当初の事業目的を達成したことにより、同社を吸収合併いたしました。

2. 合併方法

当社を存続会社、株式会社セイワキャリアサービスを消滅会社とする吸収合併です。

3. 合併後企業の名称

星和電機株式会社

4. 合併に係る割り当ての内容

当社完全子会社との合併であるため、本合併による新株式の発行及び合併交付金の支払いは行いません。

5. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日) 及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日) に基づき、共通支配下の取引の会計処理を適用しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

星和電機株式会社

取締役会 御中

清友監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 平岡 彰信 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 人見 敏之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている星和電機株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、星和電機株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。